

# 1万人の生活者にきいた 色でイメージする2040年

生活者が「未来」に抱くイメージについて、非言語的要素を入り口と探るため、1万人の生活者(全国・15~69歳の男女)に、「2040年頃の未来のイメージに近い色」を回答してもらいました。ここでは回答結果から全体傾向に比べて属性ごとに選ばれやすい色を抽出。性年代別の「未来の色」として表現しています。帯の中の生声は、生活者がそれぞれの色から想起するモノやコトのイメージです。



**10代女性**  
Society 5.0っぽい色  
近未来的で、全てのものが効率的に変わっているイメージだから  
最先端のテクノロジーを駆使し、人々が暮らしやすい選んだ未来

**20代女性**  
濃密で色々なことがつまっている世界  
個人と社会、都会と地方など、一方に偏ることのないバランスのとれた社会

**30代女性**  
不安がほほえない澄んだ未来をイメージした  
性別や機械や人間の境目があいになる

**40代女性**  
自己肯定感をしっかりと持って、軽やかに進んでいる  
AIという神の領域と、自然と人間性が融合する時代

**50代女性**  
環境に配慮するあまり、生活の豊かさが損なわれる感じ  
自分の目も見づらくなっていく

**60代女性**  
多様性があり輝きだか、そこそこ希望も感じられる成熟した大人の社会  
AIやロボットに頼らず、人の力を信じた未来をイメージ

**10代男性**  
環境問題について、考え、行動し、取り組む未来  
AIの発展により、人間が認識されること、明らか

**20代男性**  
濃密で色々なことがつまっている世界  
個人と社会、都会と地方など、一方に偏ることのないバランスのとれた社会

**30代男性**  
新しい未来があまり見えないから暗い色、またミステリアスな部分  
黒に近いけど僅かな明るさがある

**40代男性**  
先分らない混沌とした世界だが、少しは明るい兆しがあるように  
今生きている人の考え方で、未来の色は変わる

**50代男性**  
環境問題について、考え、行動し、取り組む未来  
AIの発展により、人間が認識されること、明らか

**60代男性**  
先分らない混沌とした世界だが、少しは明るい兆しがあるように  
今生きている人の考え方で、未来の色は変わる